



リボンの会5周年交流会in北九州 報告書

[リボンの会のホームページ・トップ](#) > [リボンの会とは](#) > [活動報告](#)

開催日時: 2017年 **5月27**日(土) 13時半～16時半

開催場所: 小倉興産16号館10階
北九州市小倉北区浅野2-14-2

顧問: 大野裕樹先生(北九州市立医療センター副院長 血液内科)

参加者数: 35名

【1.代表挨拶】

【2.体験発表「悪性リンパ腫との15年 医者が「がん」になって」】

廣澤元彦さん(元北九州市立医療センター小児科医)



1) 自己紹介

1939年(昭和14年)1月23日生まれ「第二次世界大戦」勃発の年

2) 「悪性リンパ腫との15年7ヶ月」検査でたどる病気の経過

2001年8月びまん性大細胞型B細胞リンパ腫と診断。

2001年9月11日治療が開始 (CHOP療法)。

この日、アメリカでは同時多発テロ (9.11) 勃発。

2002年「甲状腺がん」(甲状腺全摘)

2005年再発。6月治療開始。(R-CHOP療法)

2009年再発。放射線治療

2011年11月再発。血尿、左尿管を巻き込む腫瘍。左腎臓に浸潤。

2015年「皮膚細胞基底がん」(がん) 切除

三度の再発を医者を目で見つめ、そして主治医と相談しながら治療を決めてきた。

現在は末梢神経障害によりしびれがあり、歩行が不自由になっている。原因は抗がん剤の副作用であり転ばないように日常生活に注意している。

3) 医者が「がん」になること

“とまどい” “やっぱり不安”そして“立ち直り??”

患者にとって必要なものは「メディカルリテラシー (literacy)」である。

これは「読み書きができる、教養のある」という意味から転じて「情報や知識の活用能力」であり、人間はえてして都合の良い情報を取りたがるがそれでは情報や知識を活用することができない。国立がん研究センターの「がん情報サービス」等で情報が発信されているので活用してほしい。

「知ったうえで不安を納得し—受け入れる」

「闘病は嫌い「がん」と仲良く」していきたいと納得してこられました。



多様な生き方のすすめ

発育 (成長・発達) するものの

“多様性” (Diversity) の発見

「発達」 (子どもから大人へ)

「生涯発達」 (大人になってから)

「良い加減」のすすめ

* 「非まじめ」のすすめ (森 政弘)

* [三方よし] (近江商人の知恵)

* [ドンマイ] (Don't worry) (ドンマイン: never mind・記念)

“静かな諦めもひとつの選択” (多田富雄)

4) 生き方の多様性 “がん患者”としての多様な生き方のすすめ

2007年に「がん対策基本法」が色々な方々の努力で制定された。画期的なことは話し合いの中に患者代表を入れたことだ。そして昨年12月には「がん対策基本法の改正案」が成立し、がん患者の退職防止の指針ができた。全国各地の病院にがん相談センターがあり、様々な相談にのってくれるので活用していただきたい。

そして多様な生き方ができる社会であることを願って、金子みすずの「わたしと小鳥と鈴と」を紹介されました。

—みんな違ってみんないい—



【3.交流会】

大野先生と廣澤先生を囲んで、参加者全員が輪になって座り、自己紹介。その後、先生に質問したり、先生からの問いかけがあったりで進行了ました。参加された皆さんが治療後も「再発しないだろうか…」と不安な気持ちを持ち続けられておられたり、新薬に対する期待や疾患について知りたい、納得したい、という気持ちが分りました。これから骨髄移植を控えた患者さんの質問に大野先生が、患者さん情報はチーム医療で共有されていることを丁寧にお話下さいました。交流会が終わり帰路に着いていた時その患者さんから「今日は参加して良かった」と電話をいただきました。気持ちを吐き出したことで、先生に受け止めていただき気持ちが少し軽くなったように感じました。移植治療が順調に行く事を祈ります。参加された皆さんの気持ちも少しは納得の方向に向かえたでしょうか？



—アンケート—

1. 気持ちが楽になりました。(60代男性)
2. とても参考になりました。いろいろな悩みや苦しみを自分だけでなく多くの方が抱えていらっしゃるのだと深く心に感じました。同時に少し安心しました。先生に個人的にゆっくり相談を聞いていただく事ができたことを心より感謝申し上げます。(70代女性)
3. 廣澤先生の人生哲学に触れ人生勉強になりました。何事も納得して受け入れる。大野先生の質疑応答から、病種の治療について勉強になりました。(30代女性)
4. HLA ひと白血球抗原の話など改めて知る話が有り勉強になりました。リボンの会に対しましては陰ながら応援しております。本日はありがとうございました。(30代男性)
5. 専門ドクターが丁寧に質問に答えていただき、又助言して頂き大変有意義でした。(40代男性)
6. いろいろ勉強させてもらい大変良かったです。(60代女性)
7. 廣澤先生、大野先生のお話はとても勉強になりました。(60代女性)



リボンの会 事務局本部

公式サイトURL: <http://ribonnokai.info/>

E-mail: <http://ribonnokai.info/mail.html>